

37 授業体験：授業担当教員による実演を生徒の立場で体験

Let's give it a try!	解答例
<p>1. インフォメーション・ギャップの原理を取り入れた言語活動を考えて実践しなさい。</p>	<p>例えば、上段に人名、中段に曜日、下段にスポーツなどの活動を描いた3段×7列の表Aと表Bを用意し、ペアで活動を行う。表Aと表Bにはそれぞれ空欄があるが、その空欄は相互に補完するようになっている。“What does Mary do every Wednesday?” “Who plays tennis every Friday?”などの質問を相互にし、空欄を埋めていく。曜日をlast Mondayなどに変えると過去形の活動に、next Tuesdayなどの変えると未来を表す表現を使う活動になる。</p>
<p>2. 「変化に富む繰り返し」を意識した音読活動で、場面・状況についてアイデアを出し合いなさい。</p>	<p>衣類のショップ店員と買い物客の会話。店員がぶっきらぼうな態度である場面を設定したり、何とか買ってもらおうと、アドリブを入れたり、店員のセールス・トークが多い場面を設定し、演じる。</p>